

2024年8月2日

ローム株式会社

日本全国にオーケストラの音楽をお届けする特別企画！

ROHM MUSIC FOUNDATION 30<sup>TH</sup> ANNIVERSARY PROJECT Vol.5

## 名古屋フィルハーモニー交響楽団 プレミアム・コンサート in 浜松

ローム株式会社(本社:京都市)が支援する公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション(京都市)は、財団設立30周年を記念し全国でオーケストラのコンサートを開催する「ROHM MUSIC FOUNDATION 30<sup>TH</sup> ANNIVERSARY PROJECT」(以下、「本プロジェクト」)の第5弾として、「名古屋フィルハーモニー交響楽団 プレミアム・コンサート in 浜松」を2024年11月4日(月・祝)に開催いたします。

本プロジェクトは、これまで京都、福岡、仙台、倉敷と日本各地で開催しており、オーケストラの素晴らしい演奏と共に、ロームミュージックファンデーションが過去に音楽家育成事業に関わり、現在国内外で活躍する音楽家「ロームミュージックフレンズ」によるソロなどを多くのお客様にお楽しみいただきました。

今回の公演も岩代太郎作曲の設立30周年記念作品「東風慈音ノ章」で幕を開けます。続いて、伝統ある国際コンクールで上位入賞を果たした注目の若手ピアニスト・務川慧悟をソリストに迎え、ラフマニノフのピアノ協奏曲を披露します。プログラムのメインには、「千夜一夜物語」の登場人物を題材にした「シェエラザード」を飯森範親の指揮でお届けします。本作品の演奏前には、司会の松本志のぶが楽しく楽曲を解説するプログラムもご用意しております。

ローム ミュージック ファンデーションの30年以上にわたる音楽文化支援活動で得た絆が生み出す豪華プログラムをお楽しみください。

## ■第5回公演概要



|        |   |
|--------|---|
| 名 称    | : ROHM MUSIC FOUNDATION 30 <sup>TH</sup> ANNIVERSARY PROJECT Vol.5<br>名古屋フィルハーモニー交響楽団 プレミアム・コンサート in 浜松                               |
| 日 程    | : 2024年11月4日(月・祝)16:30開演(15:30開場)   |
| 会 場    | : アクトシティ浜松 大ホール(浜松市)  |
| オンライン  | : クラシック専門ストリーミングサービス「カーテンコール」内<br>「ローム ミュージック チャンネル」にて配信<br><a href="https://curtaincall.media/rmf">https://curtaincall.media/rmf</a> |
| 出 演 者  | : 指揮者 / 飯森 範親<br>ピアノ / 務川 慧悟(ローム ミュージック フレンズ)<br>管弦楽 / 名古屋フィルハーモニー交響楽団<br>司会 / 松本 志のぶ   |
| 料 金    | : S席/4,000円、A席/3,000円、B席/2,000円<br>オンライン配信チケット/500円   |
| チケット販売 | : 2024年8月2日(金)<br>チケットぴあ 他にて販売開始  |
| 主 催    | : 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション  |
| 特別協賛   | : ローム株式会社   |
| 協 賛    | : ローム浜松株式会社   |

## &lt;プログラム&gt;

|                 |  |
|-----------------|--|
| 岩代 太郎           | : 東風慈音ノ章 ~ロームミュージックファンデーション設立 30周年記念 委嘱作品~ |
| S.ラフマニノフ        | : パガニーニの主題による狂詩曲 Op.43 (独奏:務川 慧悟)          |
| N.A.リムスキー=コルサコフ | : 交響組曲「シェエラザード」Op.35                       |

※詳細は添付のチラシをご参照ください。

## <コンサートのポイント>

・本プロジェクトのために委嘱した岩代太郎作曲の作品を演奏。

※世界初演は2023年1月25日 角田鋼亮指揮、京都市交響楽団。本作品の演奏としては本公演で5回目。

初演動画(ダイジェスト)はこちら<<https://youtu.be/o9ZnHbDusbU?si=2KVdgVwU--xY711n>>

・ソリストの務川 慧悟(ロームミュージックファンデーション2015~2016年度奨学生)はロン＝ティボー＝クレスパン国際コンクールにて第2位、エリザベート王妃国際音楽コンクールにて第3位を受賞し、世界から注目を集める若手ピアニストのひとり。指者は、これまで国内外数多くのオーケストラを指揮し、築いた類稀な信頼関係を高く評価されている飯森範親。

・司会の松本志のぶによる楽曲や楽器の解説も含まれており、クラシック愛好家だけではなく幅広い方々にお楽しみいただけるプログラムをご用意。

## ■ 30周年記念委嘱作品について

### ①タイトル

<日本語表記>

東風慈音ノ章(こちじおんのしょう) Rohm Music Foundation 30th Anniversary Work

<英語表記>

The Chapter of KOCHI-JION Rohm Music Foundation 30th Anniversary Work

### ②作曲者 コメント

以前から幾度となく、異国の地で「たった一人の日本人メイン・スタッフとして」映画や映像制作の現場に参画してまいりました。特にアジア圏内の制作現場では、歓迎の視線、そして嫌悪の視線が交差する現場も決して珍しくありません。そんな折、私は関係者の人々に、「慈愛」「敬愛」の念をもって誠意を尽くすことで、結果、多くの友人に恵まれてきました。「敬う」「慈しむ」という心情は、ほぼ誤解なく伝わるものだと自負しています。因みに「愛情」や「礼節」だけではダメなのです。それは、相手が求めているカタチでなければ、伝わらず、受け止めてもらえないことさえあります。夫婦間や恋人同士であっても、「愛情」や「礼節」の掛け違いから喧嘩になることもあるほどですから。改めて言うまでもなく「愛情」や「礼節」が争いや戦争のきっかけになってきたことは、誰もが歴史から学べるところでしょう。

世界の分断が日に日に増し、不穏な空気感が漂っている今、極東に位置する私たち日本が、明日に向かって何を成すべきか、そんな想いを敢えて「祝典曲」に込めたいと思いました。

「音楽」が成就する為には「平和」が必要です。

「音楽」は「心」にしか宿りません。

そんな様々な明日への想いを込めて、「東風慈音ノ章」と名づけさせて戴きます。

## 作曲者: 岩代太郎 <プロフィール>



©Rowland Kirishima

東京藝術大学大学院修了。国内外を問わず数多くの映像作品の音楽を担当。映画「血と骨」「春の雪」「蝉しぐれ」「利休にたずねよ」「Fukushima 50」「キネマの神様」で日本アカデミー賞優秀音楽賞、「闇の子供たち」で毎日映画コンクール音楽賞を受賞。またジョン・ウー監督「レッドクリフ」「The Crossing」「Manhunt」、ボン・ジュノ監督「殺人の追憶」も手掛ける。TVでもNHK連続テレビ小説「あぐり」、大河ドラマ「葵・徳川三代」「義経」なども担当。2018年より、演劇と音楽のあたらしいカタチの舞台「奏劇」を企画し、自らの原案・作曲・演奏で公演を行っている。また自ら主宰してNPO法人「オトブミ集～絆」を立ち上げ、社会貢献活動にも取り組んでいる。

### ■ライブ配信及びアーカイブ配信について(有料)

クラシック専門ストリーミングサービス「カーテンコール」にてライブ配信いたします。  
また、公演翌日から1週間の期間限定でアーカイブ配信もご覧いただけます。  
<Vol.5 浜松> 2024年11月5日(火)15:00~2024年11月11日(月)23:59

### ■ROHM MUSIC FOUNDATION 30<sup>TH</sup> ANNIVERSARY PROJECT 特設WEBサイトについて

ローム ミュージック ファンデーションWEBサイト内に特設WEBサイトを設置し、本プロジェクトの概要や各地の公演情報等を随時更新しています。  
過去公演のダイジェスト動画も掲載していますので、ぜひご覧ください。  
(各公演情報内の「ダイジェスト動画はこちら」をクリックするとご覧いただけます。)  
<<https://www.rmf.or.jp/jp/30th-project/>>

### ■ローム ミュージック フレンズについて

ローム ミュージック ファンデーションは様々な事業で若い音楽家の育成を図っており、その事業の中で関わった音楽家を「ローム ミュージック フレンズ」(4,931名:2024年7月末時点)として、ともに音楽を届ける仲間となっていただいています。

| 事業名                           | 内容   |
|-------------------------------|--|
| 奨学援助<br>(1991年度~)             | 国内外の教育機関で音楽を学ぶ学生への奨学金の支給。<br>現在までに557名を支援。   |
| 音楽在外研究援助<br>(1993年度~2014年度)   | 音楽家の一層の研鑽を図るための在外研究を援助。<br>現在までに64名を支援。  |
| 音楽セミナー<br>(1992年度~)           | プロの音楽家の育成を目的としたセミナー。これまでに弦楽器クラス、管楽器クラス、指揮者クラスを実施し、現在までに333名が受講。                        |
| ローム ミュージック セミナー<br>(2019年度~)  | 世界で活躍するローム ミュージック フレンズによる音楽家育成セミナー<br>2019年度からは宮田大・チェロクラスを実施し、現在までに11名が受講。             |
| 京都・国際音楽学生フェスティバル<br>(1993年度~) | 国際交流と音楽家の育成を目的として、世界を代表する音楽学校から音楽学生を京都に招いて開催するフェスティバル。<br>現在までに国内外から2,646名が出演。         |
| 小澤征爾音楽塾<br>(2000年度~)          | 小澤征爾氏の「若い音楽家を育てたい」という熱い思いで始まったオペラやオーケストラの公演を通じて若手音楽家の育成を図る教育プロジェクト。<br>現在までに1,583名が出演。 |

※ローム ミュージック フレンズは複数事業に関わった方がいるため、各事業の人数と合計人数は一致しません。

以上



# ROHM MUSIC FOUNDATION 30<sup>TH</sup> ANNIVERSARY PROJECT

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションは、京都市に本社を置く半導体・電子部品メーカーであるローム株式会社および創業者の佐藤研一郎(1931年～2020年)が中心となって1991年に設立され、若手音楽家の育成やコンサート支援など音楽文化の普及と発展のためさまざまな活動を行っており、2021年に設立30周年を迎えました。設立30周年を記念し、この活動をより広げるために音楽の素晴らしさを伝えるオーケストラのコンサートを全国各地で開催しております。各地のオーケストラとともに、ローム ミュージック ファンデーションが過去に若手音楽家育成事業で関わり、現在国内外で活躍する音楽家「ローム ミュージック フレンズ」の出演や、設立30周年を記念した委嘱作品の演奏など華やかなプログラムをお届けします。



## 名古屋フィルハーモニー交響楽団 Nagoya Philharmonic Orchestra (管弦楽)

名古屋を中心に、中部・東海地方の音楽界をリードするプロ・オーケストラ。革新的な定期演奏会のプログラムや、充実した演奏内容で広く全国に話題を発信。“名(めい)フィル”の愛称で親しまれている。2023年川瀬賢太郎が第6代音楽監督に就任。ほか現在の指揮者陣は、小泉和裕(名誉音楽監督)、小林研一郎(桂冠指揮者)、モーシェ・アツモン(名誉指揮者)、ティエリー・フィッシャー(名誉客演指揮者)。2023年小出稚子が第4代コンポーザー・イン・レジデンスに就任。1988年ヨーロッパ2か国、2000年アジア8か国、2004年ヨーロッパ3か国、2006年アジア7か国の海外ツアーを実施。楽団創立は1966年7月10日。1973年に名古屋市の出捐により財団法人に、2012年に愛知県より認定を受け公益財団法人となる。現在は年間約110の演奏会に出演。

公式ウェブサイト <https://www.nagoya-phil.or.jp/>

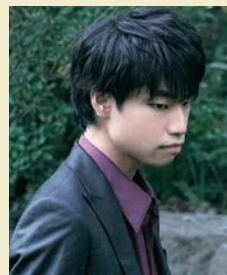


## 飯森 範親 Norichika Iimori (指揮)

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリン、ミュンヘンで研鑽を積み、これまでにフランクフルト放送交響楽団、ケルンWDR交響楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、モスクワ放送交響楽団等に客演。2001年、ドイツ・ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団音楽総監督(GMD)に着任し、日本ツアーも成功に導いた。国内では1994年以来、東京交響楽団と密接な関係の続け、正指揮者、特別客演指揮者を歴任。2006年度芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞、2007年

より山形交響楽団音楽監督に就任、芸術総監督を経て、2022年より同楽団桂冠指揮者。パシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、日本センチュリー交響楽団首席指揮者、群馬交響楽団常任指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。

オフィシャル・ホームページ <https://iimori-norichika.com/>



## 務川 慧悟 Keigo Mukawa (ピアノ)

ローム ミュージック フレンズ<2015、2016年度奨学生>

2021年エリザベート王妃国際音楽コンクールにて第3位受賞。2019年ロン＝ティボー＝クレスパン国際コンクールにて第2位受賞。現在、日本、ヨーロッパを拠点にソロ、室内楽と幅広く演奏活動を行っている。バロックから現代曲までレパートリーは幅広く、各時代、作曲家それぞれの様式美が追究された演奏、多彩な音色には定評がある。また現代ピアノのみならず、古楽器であるフォルテピアノでの奏法の研究にも取り組んでいる。2022年、NOVA Recordより「ラヴェル：ピアノ作品全集」をリリース。

また、自身の編曲によるラヴェル「マ・メール・ロワ」ピアノソロ版の譜面をMuse Pressより出版している。

オフィシャル・ホームページ <https://keigomukawa.com/>



## 松本 志のぶ Shinobu Matsumoto (司会)

静岡県浜松市出身。上智大学外国語学部卒業後、日本テレビに入社。「24時間テレビ」総合司会、「行列のできる法律相談所」レギュラーMC、「ズームイン朝」、五輪現地キャスターなどを務め、報道・情報・ニュース・バラエティ各種番組で活躍。2009年よりフリーアナウンサーとして、TBS「教科書にのせたい!」レギュラーMCなども務め、また、テレビだけでなく、報知新聞「報知映画賞」選考委員や、クラシックコンサートの司会、子どものための読み聞かせコンサートでの朗読、洗足学園音楽大学客員教授を務めるなど、活動の場を広げている。

朗読、洗足学園音楽大学客員教授を務めるなど、活動の場を広げている。



## 岩代 太郎 Taro Iwashiro (作曲)

東京藝術大学大学院修了。国内外を問わず数多くの映像作品の音楽を担当。映画「血と骨」「春の雪」「蝉しぐれ」「利休にたずねよ」「Fukushima 50」「キネマの神様」で日本アカデミー賞優秀音楽賞、「闇の子供たち」で毎日映画コンクール音楽賞を受賞。またジョン・ウー監督「レッドクリフ」「The Crossing」「Manhunt」、ポン・ジュノ監督「殺人の追憶」も手掛ける。TVでもNHK連続テレビ小説「あぐり」、大河ドラマ「葵・徳川三代」「義経」なども担当。2018年より、演劇と音楽のあたらしいカタチの舞台「奏劇」を企画し、自らの原案・作曲・演奏で公演を行っている。また自ら主宰してNPO法人「オトブミ集〜絆」を立ち上げ、社会貢献活動にも取り組んでいる。

## ローム浜松株式会社



ローム浜松株式会社は、革新的な半導体で世界をリードする“ロームグループ”の旗艦工場として、1999年7月に設立されました。

それから四半世紀にわたり、ロームグループ最大規模の生産量を誇る半導体製造拠点として、人々の豊かな暮らしに貢献する半導体を、浜松の地から全世界に送り出しています。

ローム浜松の半導体は、自動車、産業機器、民生機器や通信機器に至るまで、あらゆる分野における国内外のトップメーカーに選ばれており、お客様の“省エネ”や“小型化”に寄与することで、社会課題の解決に貢献しています。

これからも、企業目的に掲げる“品質第一”の理念のもと、遠州・浜松の地に根付く“やらまいか精神”を発揮して、“最高品質のものづくり”を追求し続け、文化の進歩向上に貢献してまいります。